

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 B 13 14 15 17 18 19

江戸方角名所杖

初編
全

ル 4
3702
1

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
JAPAN
Tajima

又玄齋南可撰
畫一立祥

江戸方角名所杖初編

此書ハ大江戸の東西南北十二支の方向を分け地理を
記し古跡の来歴を説き名所あり景を畫き問
名方角を知り居るが名所を知る實は獨案内
の名所杖且書画共ふ手本を兼る重宝の書也

早稲田大学
25.5.20
蔵



江戸方角名所杖

夫武陽ハ封域廣大より名勝
佳境乃繁き枚舉するあり
公侯の邸宅薨をなぐ億萬乃士
民袖を連袂して生来銘釋その
名不舊跡を詳しむるに足られ



江戸方角杖

全書全載



江戸方角杖

宝集堂藏

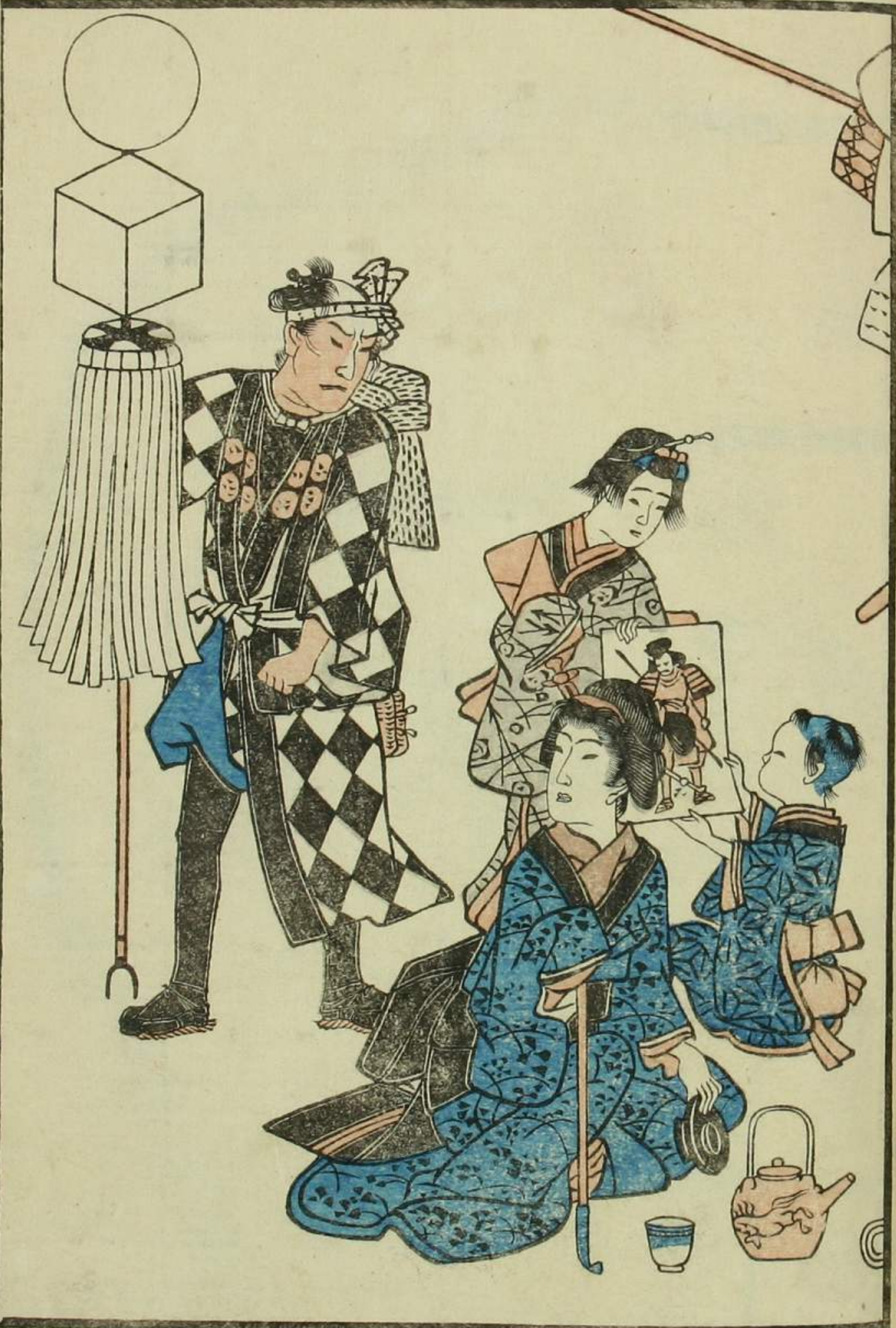
江戸方角杖

宝集堂藏

とも 稚童^{をさなご}は手習^{てあそ}ふ江戸^{えど}方角^{ちうかく}子
 心^{こころ}の神社^{じんしゃ}佛閣^{ぶつかく}の舞^まあそぶ任^{まか}
 せき 爰^{こゝ}に来^ら歴^{れき}の九牛^{きゅうご}一毛^{いちもう}城^{じやう}
 記^しをのこ

又玄高述南回

江戸方角杖



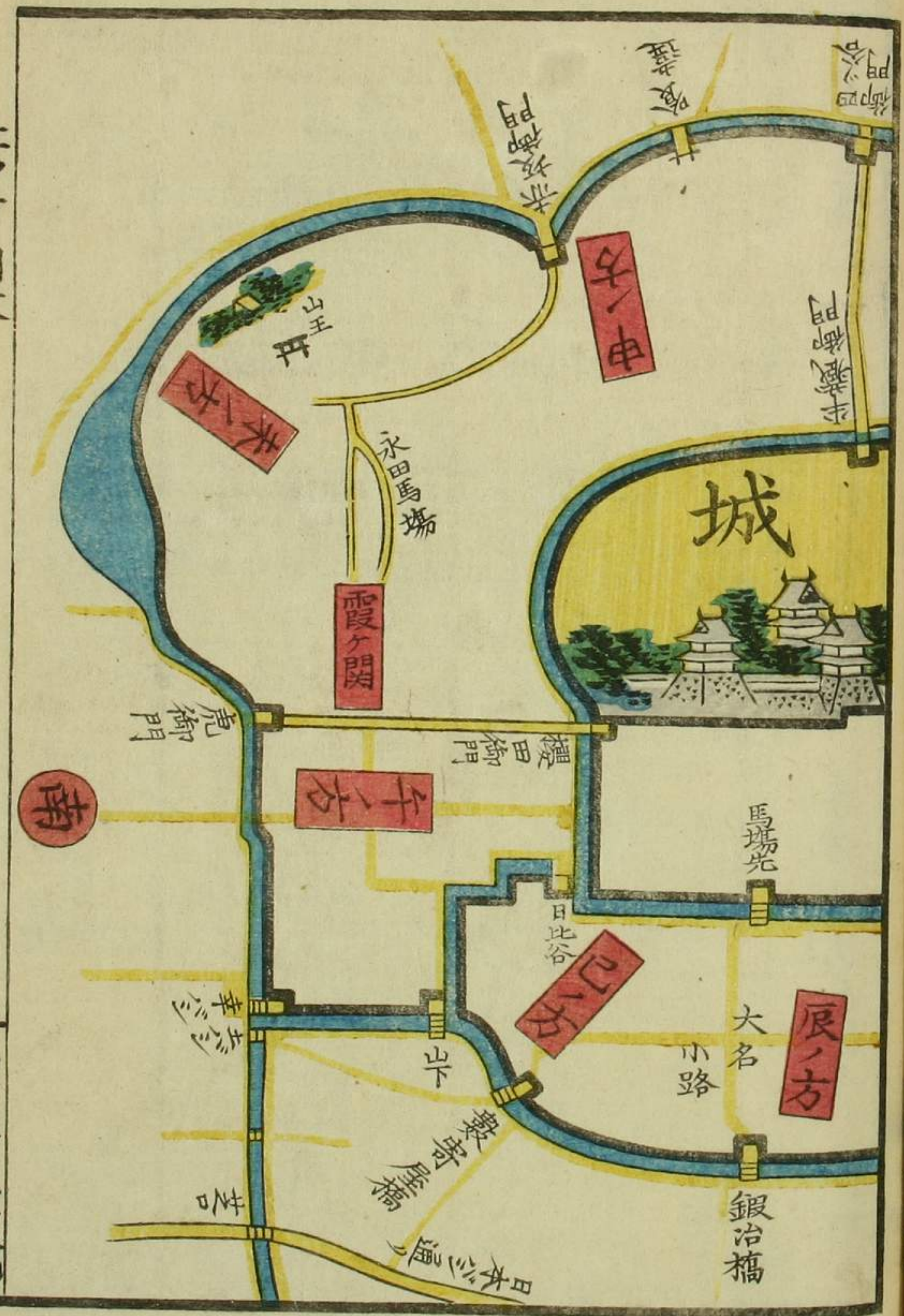
宝集堂藏

江戸方角杖



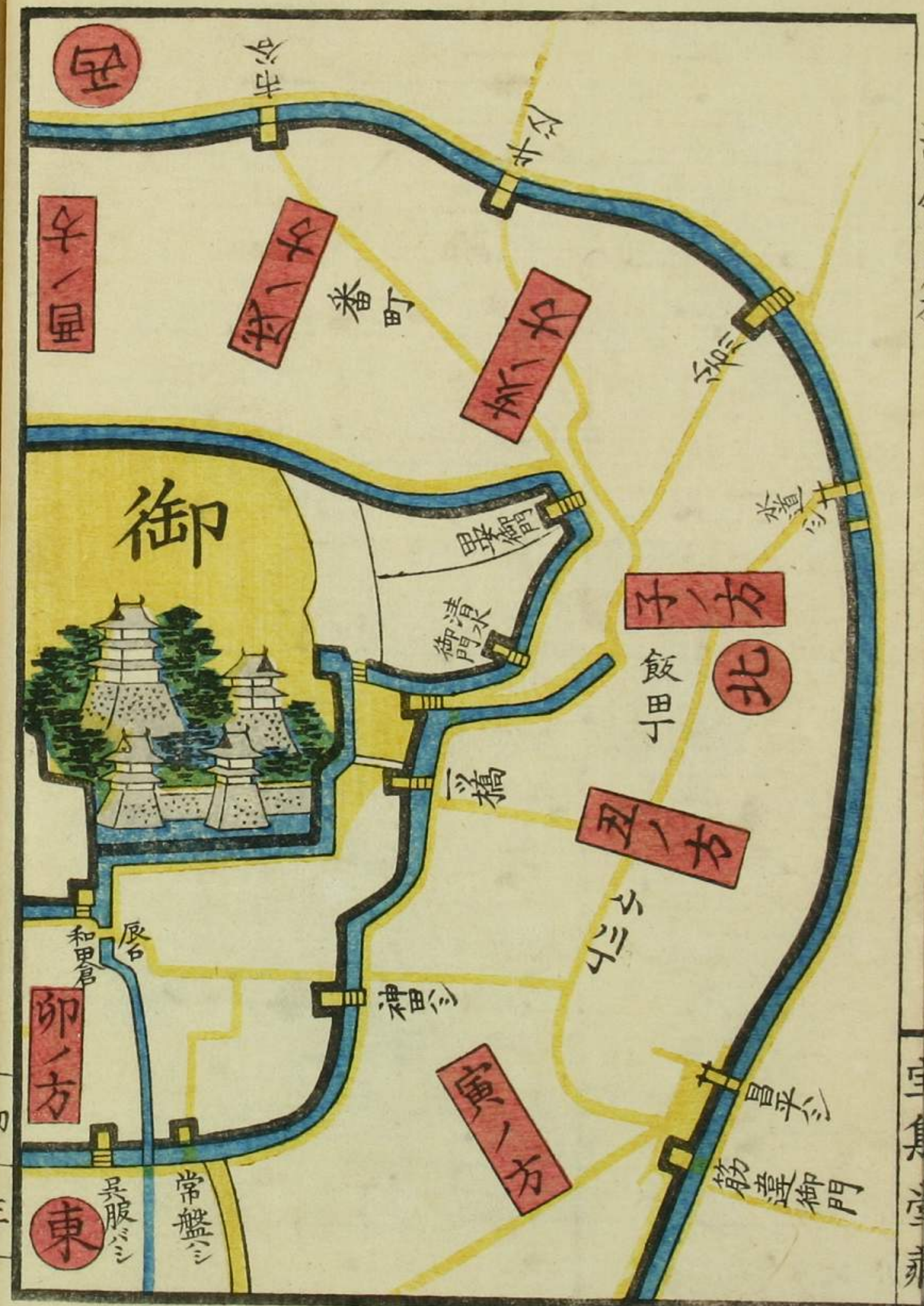
宝集堂藏

正吉方南



正吉方南

正吉方南



正吉方南

○日本橋より諸方向道法

| | | | | | |
|-------|------|------|-----|------|------|
| 品川へ | 二里 | 駒込白之 | 一里 | 吉乳之 | 一り半 |
| 高橋大橋 | 一り八丁 | 富士へ | 一り半 | 六百石漢 | 一り半 |
| 麻布若福寺 | 一り余 | 獲園寺へ | 一り半 | 龜方矢神 | 一り余 |
| 青山若光寺 | 二里 | 雜司谷へ | 一り半 | 柳橋妙慶 | 一里 |
| 深谷金三 | 二里 | 王子橋若 | 二里 | 吾妻寺 | 一り十丁 |
| 目黒不動 | 二り半 | 苑寺山へ | 一り半 | 洲崎毎天 | 一り十丁 |
| 池上へ | 二り余 | 深井へ | 一り半 | 隅田川へ | 一り半 |
| 市谷八幡 | 一り六丁 | 東門外へ | 一り余 | 三園橋若 | 一り半 |
| 目赤不動 | 一り十丁 | 洲州觀音 | 一り余 | 吉橋橋若 | 一り半 |
| 目白不動 | 一り七丁 | 猿若町へ | 一り半 | 吉間へ | 四り余 |
| 高田三橋 | 一り半 | 新吾系へ | 一り半 | 橋の邊へ | 六里 |



浄城外

浄城ハ人室百二代
後花園院の法号

長祿元年古田村
任在千代田
浄城地とある
浄城地とある
浄城地とある

江戸方角

江戸の分や神社
建つき維と
家よる里民の住
明の月由家か
武家の氏家



江戸方角

浄城地とある

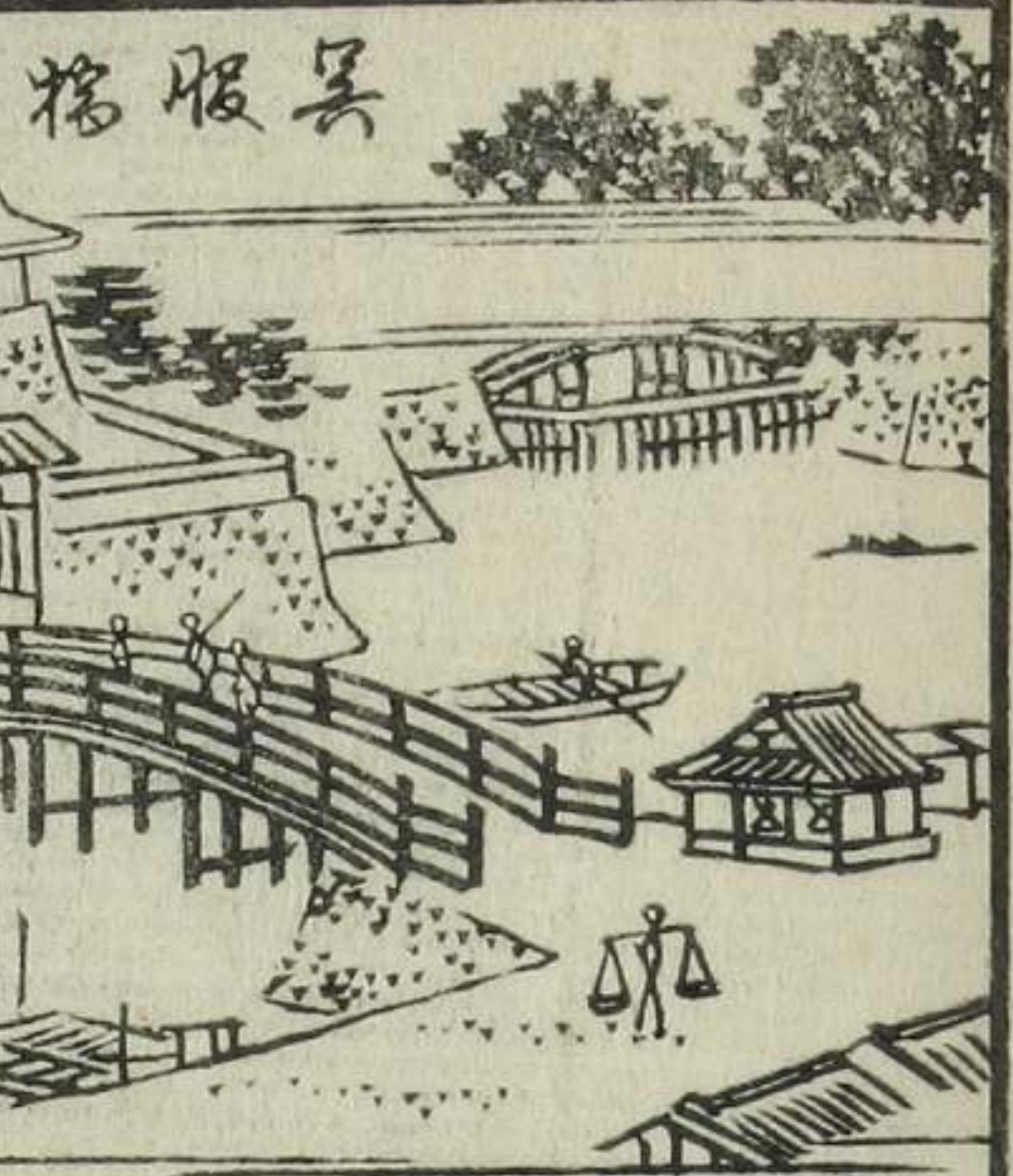


東者和田倉

中央とくまづ東の方ふある所の地名をいふあり和田倉の地名あり
呉服橋常盤橋新田橋ありつる
足附あり橋の口の狭きあり

八代洲河岸

八代洲河岸和回倉なる場所の
正橋橋をいふ長崎の和回人各
ヤンヨウスとのありの来船との名をいふ
後を下さしをいふ名づとのあり



呉服橋

あつらひむくの後者橋といひるより
橋より商家水と懸て呉服工のあり
少の西に石橋へ出る南の大門まで丁橋
丁上橋丁をいふ東の方の日本橋あり

日本橋

の中央ありして橋の方の石のけ橋と元と
魚市喜物市諸屋あり入船二六舟中
性来の人終るこまに織み兼ふ冠さ
大船をいふて東の東海屋の大船あり





杉森稲荷
 新杉本丁
 杉森稲荷の由来は、昔に杉森の氏人が、
 水牛年、田原の軍勢を率いて、
 杉門津代のとれたる神を杉ノ七橋利
 七橋町へ移し、町の裏へありあり

道渡
 道の渡、茅場丁、小綱丁へ
 橋西の江戸橋、水戸橋の川ありむう
 永義年、源義朝が、奥州征伐のとき、この
 所を渡ると、風波暴れ、死つて、その
 所を道渡一と、能神へ捧げて渡ると云



霊巖寺
 霊巖寺は、今、南
 町あり、その西の茅場町、東の永代橋へ
 首座、吳岩寺、和為海江をつた、一と
 道立、吳岩寺との名と、寺の後
 深川へ移り、その町あり、と、和為七十八町あり

新田嶋
 古地定うあり、道立の
 昌平の化、不開け、雨、号、一、又、海橋、安天の
 東の方、平井、新田、とのあり、古名、名、あり、丁、あり
 町、との、明和の、江戸、除、新、古、を、築、た、開、発、人
 の、名、あり、と、平井、新田、と、云、云、あり、定、あり、と、云





永代

永代の小綱所若傍新堀より大川を隔て町家あり
 源川のふもとに橋あり長廿八石是を永代橋といふ
 源川の中丁海傍をて夏新田砂村のふもとに大橋小名木川なる江あり
 みるる南の浦を橋の海あり

八幡之拾之間堂

源川の惣領おゆめ八幡とて寛永元年法座別祭八月十二日〇二十三日
 日向富屋ふあり系大伝二十三日をて夏小橋を射巻とておゆめ八幡とて祭とあり



海傍舟夫



洲傍辨天

より先あり岡基知是院隆光丈傳正あり
 元禄十四年死立別高を増福院といふ
 海岸の眺を絶景の眺めとて海生のとらぬ波りみ諸人先海よ

源川靈巖寺

山とのふ十八檀林のそより開山檀蓮山
 雄参上人吳岸和為之明替之春四派の後吳岸
 岸のふもとに地所永代八幡の後あり
 寺橋ありとて海傍丁年所丁のありあり

工右方角丈



工右方角丈

南本
小名木
門



南本
新小名木

川
本町の南水の号ありけり
河原川を流すの川筋は未だ

中川の石橋所あり
万年橋を造りて

八百羅漢

夫恩の羅漢は
象先和尙
在羅漢の座像あり
二尺六寸
階壇より



辰巳之方日比谷

日比谷
門
日比谷門の八代
多る場先

東の敷寄屋橋
所ありて
辰巳の町
辰巳の町



辰治橋

辰治橋の
東の
辰治橋の
外

橋南の
辰治橋の
外

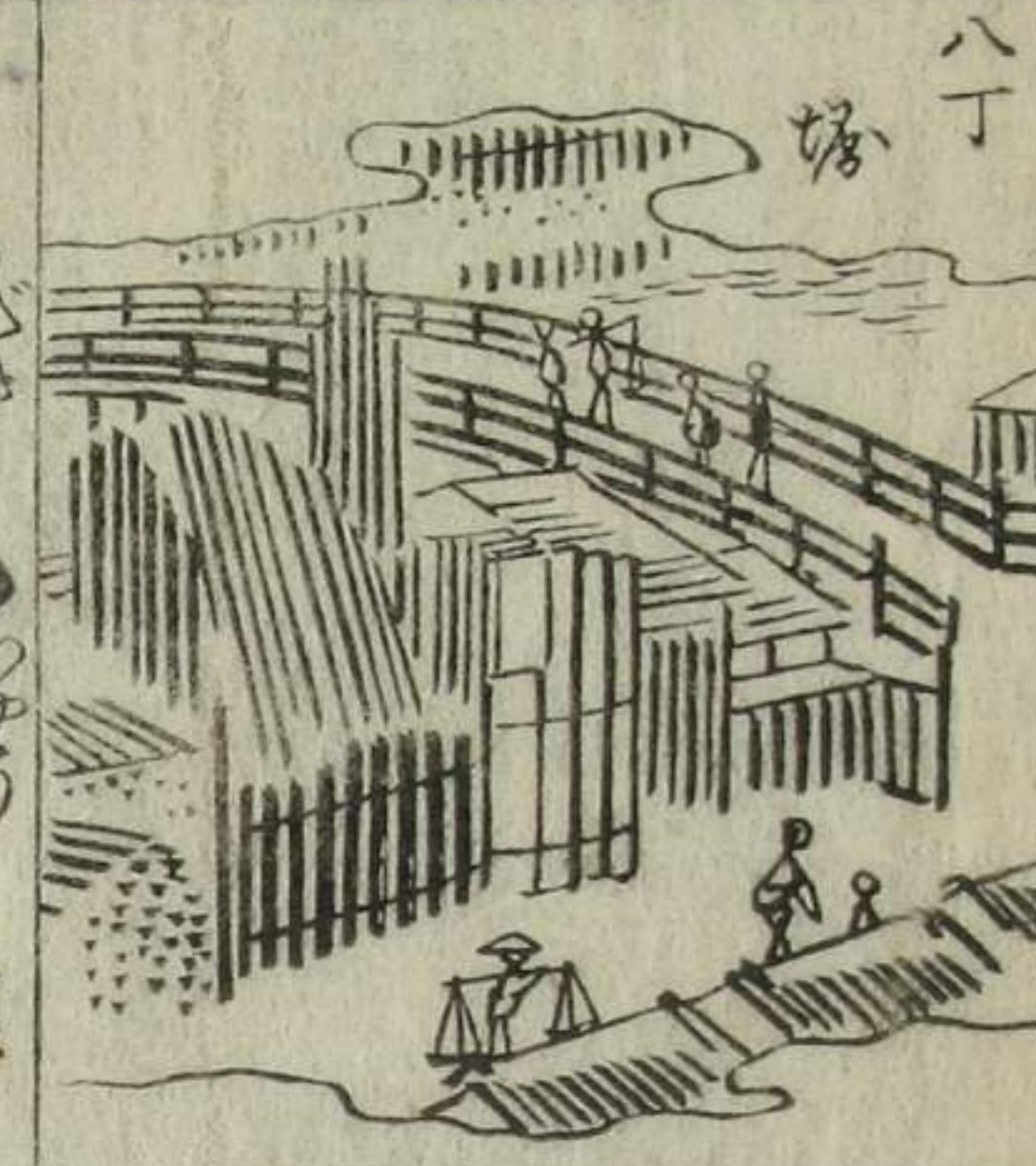
丁橋
丁橋の
東の中橋
南橋



正吉方角丈

辰治橋

江戸の東



八町場

青場丁より東の方
を八丁場といふ

このころあり西の海
橋あり南の海橋あり
橋あり南の海橋あり
橋あり南の海橋あり
橋あり南の海橋あり
橋あり南の海橋あり

本挽町

是八丁場の南あり
と拾る場の白側あり

ある七丁目あり
あり今八丁場あり
あり今八丁場あり
あり今八丁場あり
あり今八丁場あり
あり今八丁場あり



本挽町
芝居
古跡



正一位稲荷鉄炮

此社稲荷鉄炮の稲荷といふ
南八丁場あり
南八丁場あり
南八丁場あり
南八丁場あり
南八丁場あり
南八丁場あり

築地門

築地本挽丁あり
東南あり

築地の内あり
築地の内あり
築地の内あり
築地の内あり
築地の内あり
築地の内あり



築地
門

江戸の東

江戸の東

江戸九月廿日



芝口
新橋

芝口金杉

日本橋より中橋南橋の所と丁巻糸橋
あり其の根産早より丁子竹川所出雲丁新
橋の芝口より丁子河源助丁巻月丁巻丹丁字
田丁柿明丁演松丁口所金杉橋早本芝口あり

演浄教佃嶋

南の島より海芝菜の島は橋の佃嶋の演浄が
の世演永代か南の島より小嶋の白島の島あり
芝の演浄丁の橋抄佃の演浄好嶋の佃嶋を
りよの嶋より佃嶋の島あり



飛段ヶ関



南と鹿ヶ関虎沼門

津城より南の方をさきと櫻田の所の外是田
家と津野家の島の坂ありむじは西栗城
街屋みく武藏の名所あり虎の沼門の
櫻田と鹿ヶ関の南ありあり芝口あり

江戸見坂

江戸見坂の漏池の
上り下りあり
今川諸屋の邸立ちと芝口と芝口の漏池
南の島より市芝丁東芝口西の久保え

江戸見坂





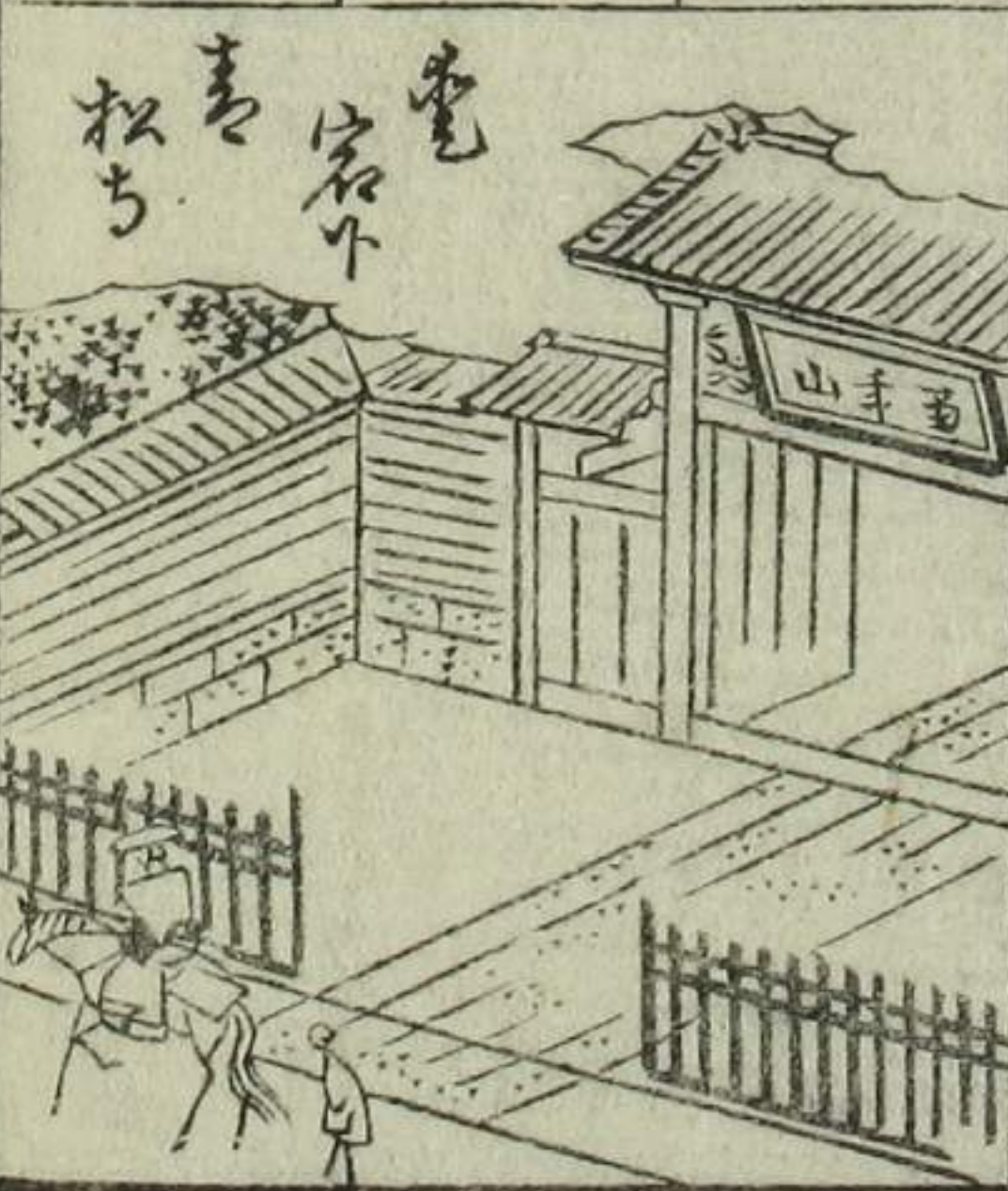
天徳寺

天徳寺

智徳院の末代格式より名を天徳と改め、開山は
長上人文文二年辛卯と云々中十七丁
あり、寛永山の後、西久保より之を虎の
口門西のまの坂、板坂、丁あり、一あり

青松寺

母根三田より山のあり、格を東の徳
丁神明あり、開山徳文和尙文明のより
草創元、貝塚あり、寺号万年と
いふ、青洞、山は、寺の二あり



青松寺

光宗

十六年、京師の光宗山より、石壇、平八、播磨坂とのみ
境、内か、四方と眺むる、芝浦の、舟、文、湯、水、映、下、廣
右の市中、眼、下、み、て、海、中、み、冠、さ、る、後、地、あり
別、あり、光宗山、寺、福、あり、寺、あり、寺、あり

西久保八幡

八幡宮、西久保の地の、結、成、り、て、石、清水、八幡、と、勤
徳、光、宗、寛、永、中、の、法、座、と、り、毎、年、八、月、十、日
放生、也、概、然、南、方、あり、が、山、と、雲、の、院、と、り
南、の、方、に、版、倉、赤、母、根、南、寺、あり、虎、の、口、あり



八幡
境内

金地院



金地院

是の場より西の方へ
六本木より金地院へ橋本とあり
延暦寺の領土に開山と大業和光とあり
末に系教南禅寺の金地院の宿あり
とありしつ城ありしより

神明

神明丁濱松丁
ありの堂下へありは徳の修徳太神宮と一
辨分心の新入皇十六代一系院寛延二
年九月十六日神勅の代社と建別系九
月十六日廿一日迄の別生妻千本第紙ありあり

神明



鳥森稲荷

鳥森稲荷の社地は
白狐奉つて白狐の夫とありは是を稲荷と
條代は後社を造らせんとは神のふより
鳥のむらがるを社地と名は稲荷と名

三塚山増上寺

芝檀林と云ふは二万五千石人皇百一代小松の
院の正系剣開山の蓮社層上上人との
神祖と要國教と
係しなり毎年四月十日は御祭と云ふ



三塚山 増上寺



鳥森

古



二田春日
 二田の境内にありて
 西南にありて地名
 庄原の形に属す後をこの綱が四つとあり
 春日の二田の境内にありて大和の国に在り
 月社ありて四明神とあり別ありて
 山神宮とあり

魚籃

魚のつらさを知るに
 九守をうらまふちの関祖法皇上人あり



泉岳寺



泉岳寺の境内にありて
 二月四日
 二月十六日
 二月十七日

お子雲大仏

旭耀山寺にありて
 大仏の境内にありて





二本

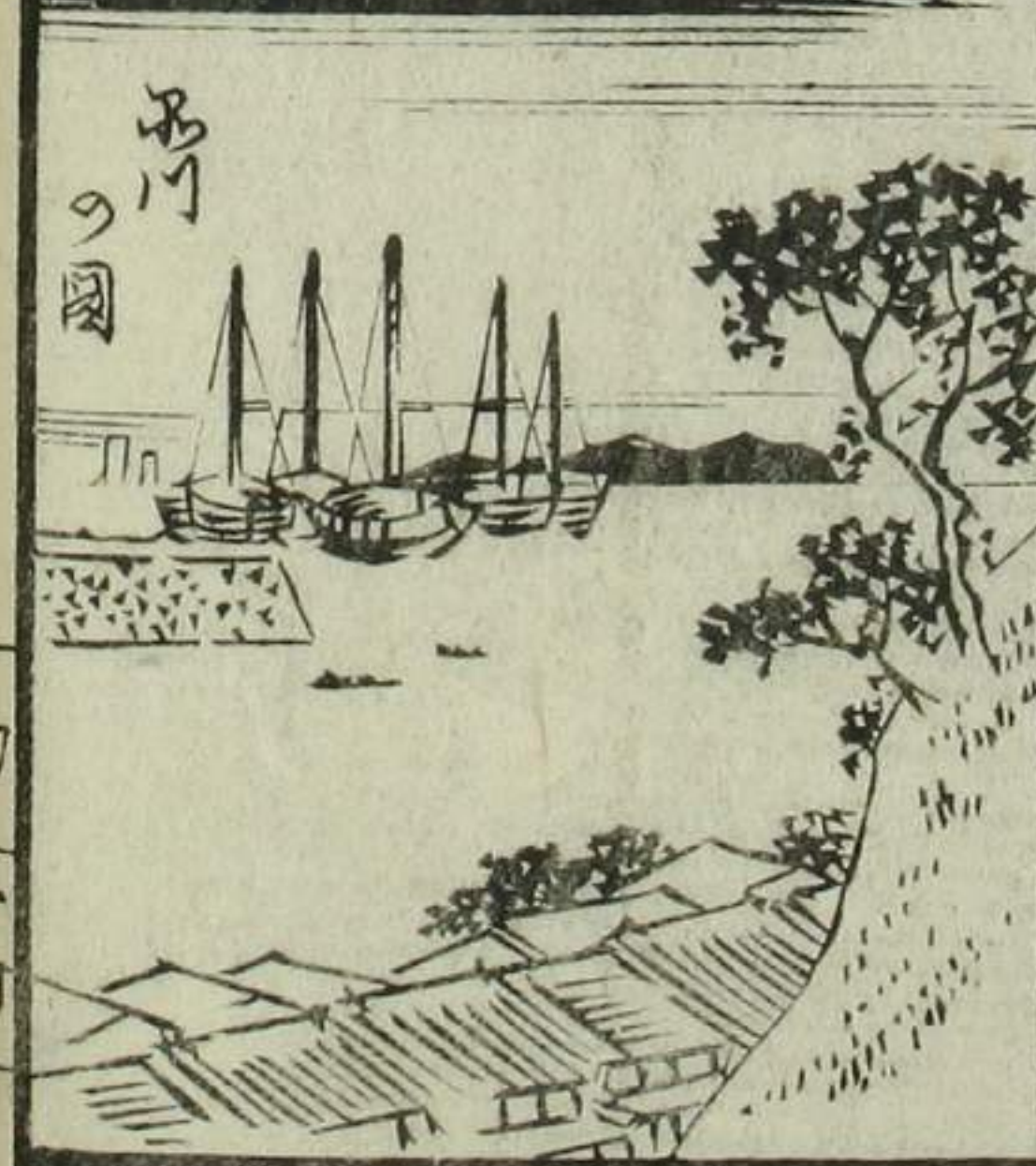
雨川奉申堂

雨川の東
海に臨み

よりの海濱日本橋の二重たの海濱漫こし
と奉申堂の地をこれ右の山に海濱漫こしの
地は海濱漫こしの地なり（奉申堂の下の橋より
右の山に海濱漫こしの地なり）

二本樓

海濱漫こしの地をこれ右の山に海濱漫こしの
地は海濱漫こしの地なり（奉申堂の下の橋より
右の山に海濱漫こしの地なり）



雨川の
園

東海寺

東大徳寺の敷地に用山は海濱漫こしの
地は海濱漫こしの地なり（奉申堂の下の橋より
右の山に海濱漫こしの地なり）



東海寺

赤坂の永田馬場

赤坂の永田馬場の地をこれ右の山に海濱漫こしの
地は海濱漫こしの地なり（奉申堂の下の橋より
右の山に海濱漫こしの地なり）

赤坂の永田馬場の地をこれ右の山に海濱漫こしの
地は海濱漫こしの地なり（奉申堂の下の橋より
右の山に海濱漫こしの地なり）

江戸方角丈



永田馬場

宝集堂藏

山王 祭礼



山王御祭

山王

山王の神社は、御永田の場、
山王の御祭は、御永田の場、
山王の御祭は、御永田の場、
山王の御祭は、御永田の場、
山王の御祭は、御永田の場、

湯池

湯池の山王の御祭は、
湯池の山王の御祭は、
湯池の山王の御祭は、
湯池の山王の御祭は、
湯池の山王の御祭は、



月ヶ窪六本木

月ヶ窪六本木の御祭は、
月ヶ窪六本木の御祭は、
月ヶ窪六本木の御祭は、
月ヶ窪六本木の御祭は、
月ヶ窪六本木の御祭は、



榎田長坂

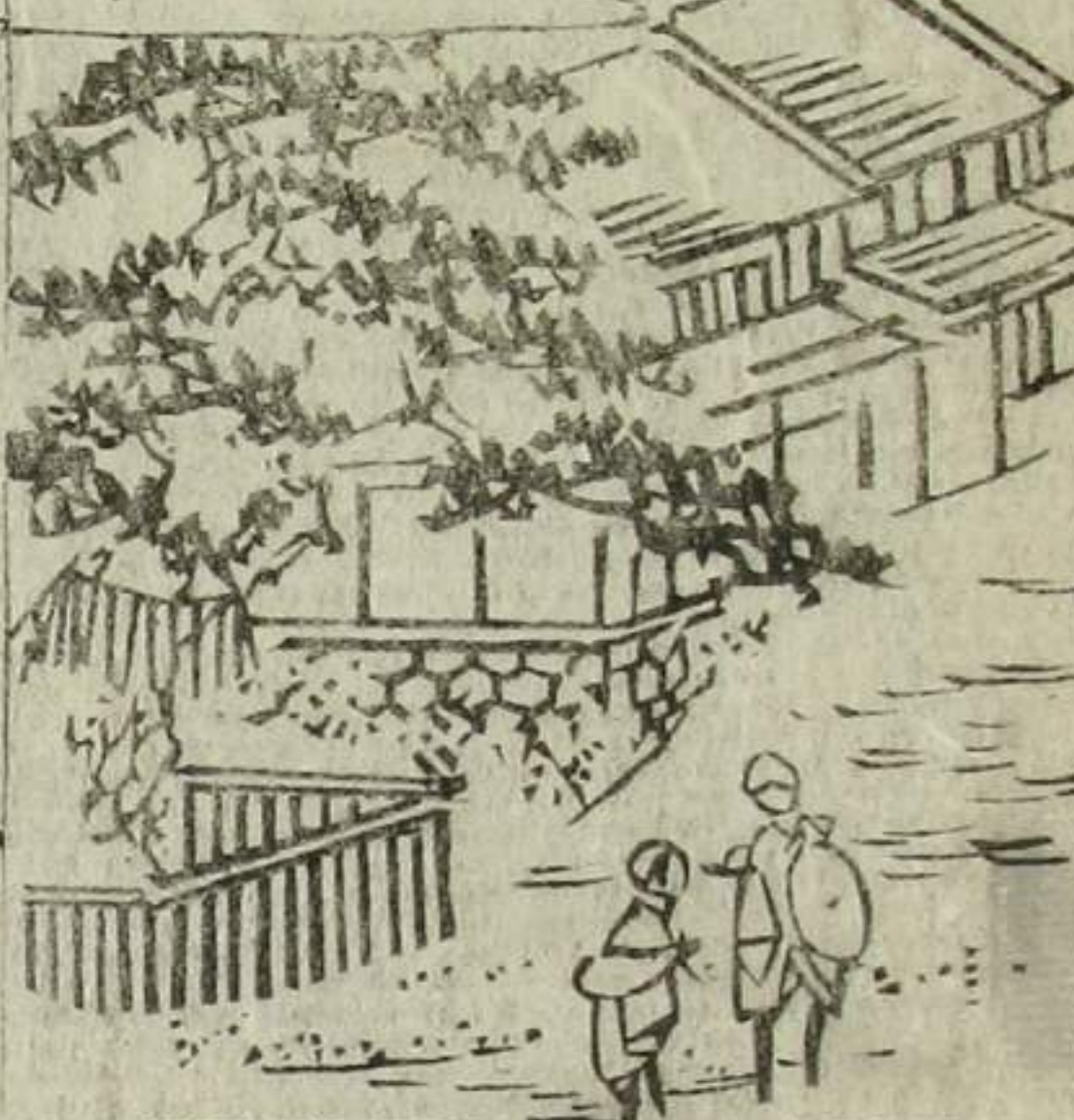
榎田長坂の御祭は、
榎田長坂の御祭は、
榎田長坂の御祭は、
榎田長坂の御祭は、
榎田長坂の御祭は、



長坂

榎田

麻布一市



江戸東角村

一本松

是も麻布の内一名を冠
の松と入を年火災ふりり

け松焼一六今ある一のまを侍み松の若
を植えよう是より西南八村町新堀に
尾の糸ちよが徳目ある南のうら
吾松も皆松松松寺みりる

菅束栲老

是は新堀
堀か由縁

へのもあるは西法と栲りの徳か西
あるは一ゆかゆかゆかゆかゆかゆか
法もち神木後あり松礼育共自とまは
まて松も松のゆかゆかゆかゆかゆか

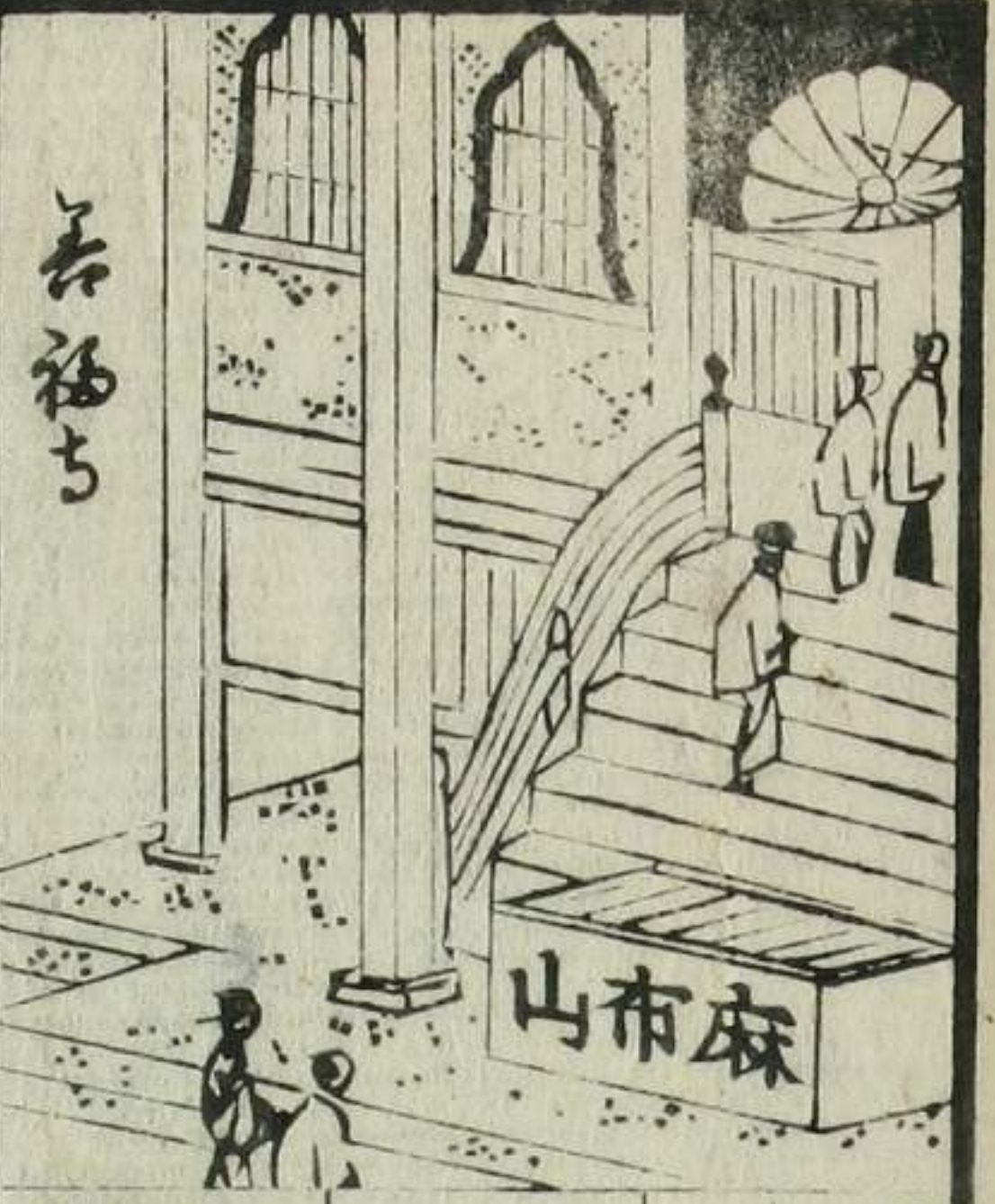
菅束栲老



麻布善後寺

麻布
ハ矢

成聖の七七の内名を麻布山と号ま
ち性古の天を関山了海大親管上人の行
あつるよゆ一西の旅み及む又或ま
名は生村とのみまこわ布みはる



筭栲

は栲まの純川と云大川
紫より日ヶ産より西のま

さう田町より筭栲小ありあり天
六孫王孫基武系かゆかゆかゆかゆ
家深板一紙波の若りゆかゆかゆ
経基海つて筭と産ふ更ありあり

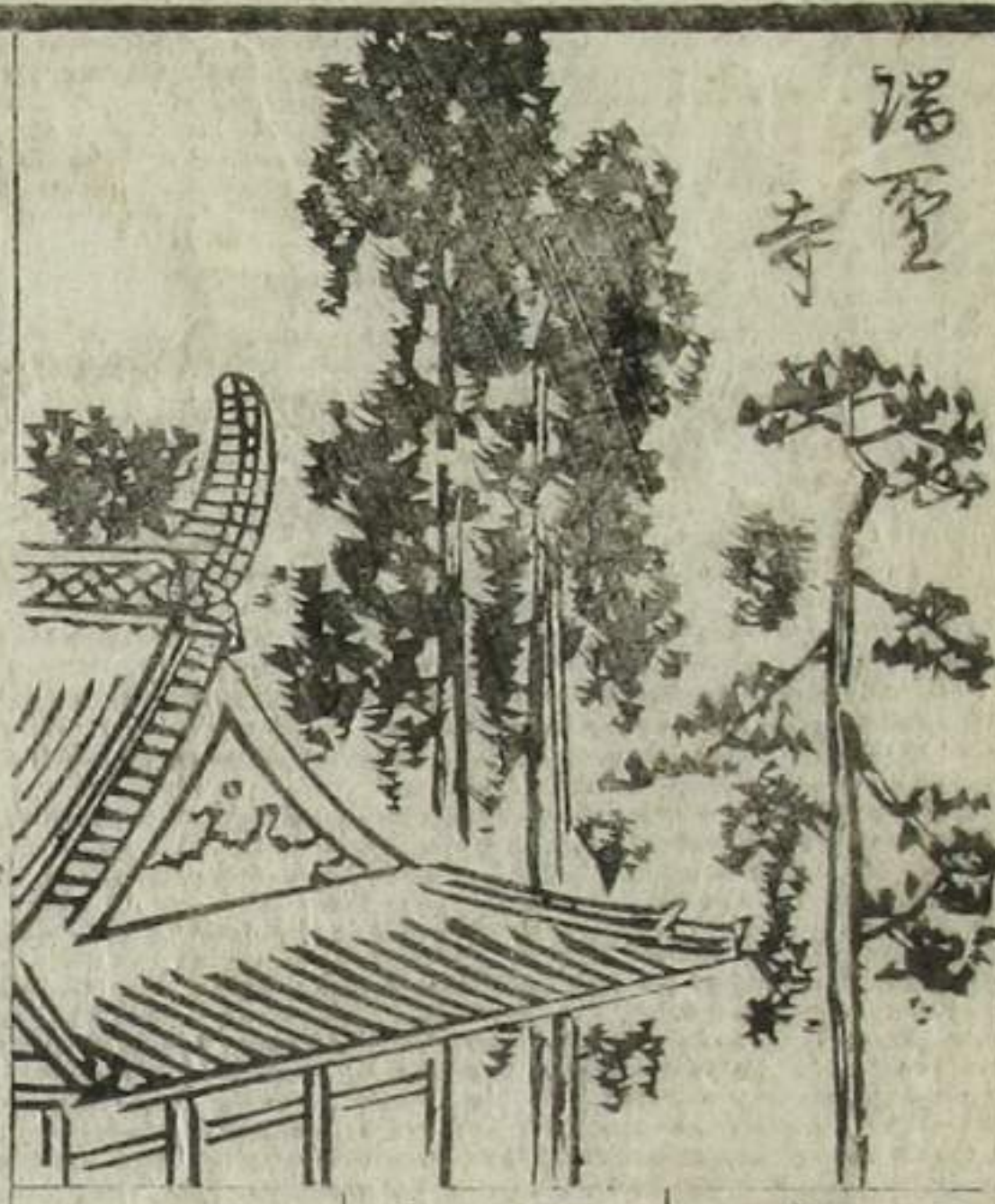


江戸東角村

菅束栲老

江戶方角村

瑞雲寺



白銀瑞雲寺

瑞雲寺
白銀分

西の方へ是れ長き丁以入坂目黒ふか湯雲
ちん云山と号く用山本倉和尙寛文年
中の造りありこの寺とけ入坂の上ふ属せ見
の兼有あり不二の眺望に角とつてま

目黒不動

泰康山法東
かよ入いそえ

不動の二あり目か武蔵と名ありとい天和
年中と近の在家か興一雲塔ゆり焼七
ま不動の具像網の中より花びか流水の
よふまゝあり其小不動の具像あり



池上

山本門と号く本派寺
山本門と号く本派寺



願石洞山月蓮上人あり人皇九代後
宇美天皇弘安年中系創みく日蓮
上人入藏葬送の地あり墓所ハ甲列
身也山納むといふ

中の方赤坂

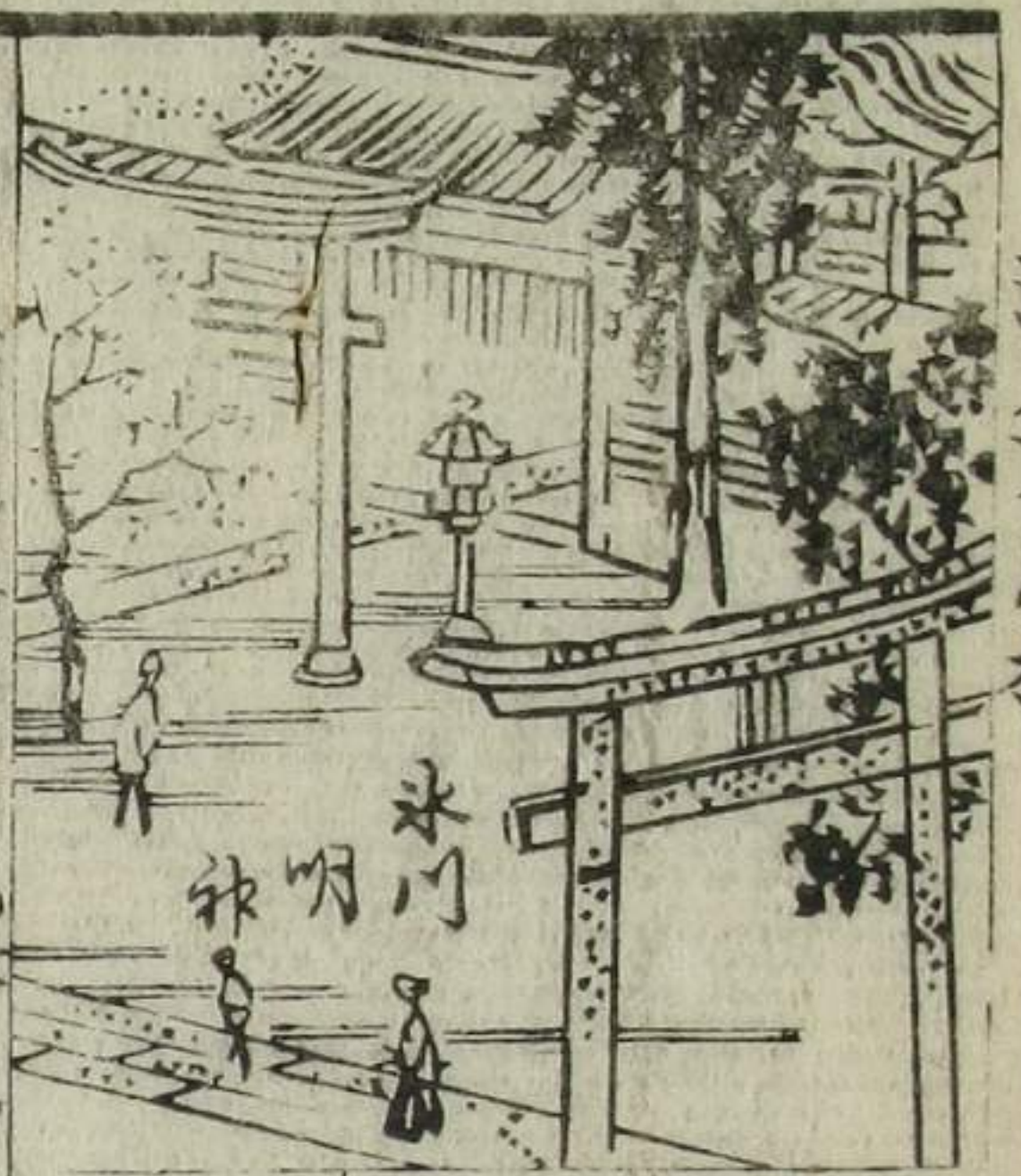
赤坂の
赤坂の

豊後赤坂の赤坂の外の外と傳る丁田所
丁田あり湯ふ相島といふ傳る丁二の赤坂
みねの赤坂の赤坂の赤坂の赤坂の赤坂の
田系殿が揚多治かや赤坂の赤坂の赤坂の赤坂の



江戶方角村

宝集堂藏

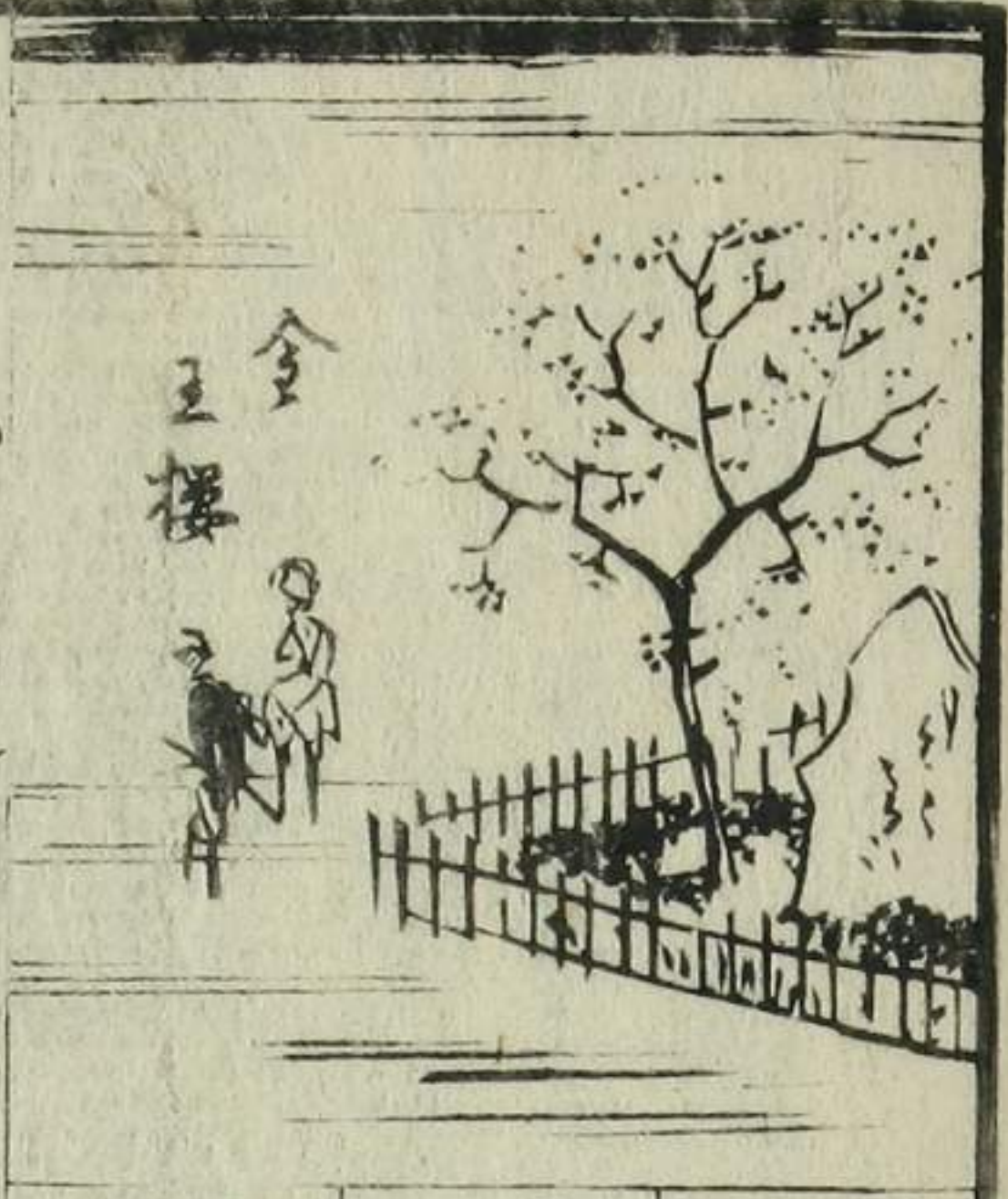


氷川明神

此社は小六の言
とあり別名大倉
氷川は武蔵野國一の言ありふより七つありおる家
社素戔嗚尊命大己貴命青櫛田作乃と
年あり敷の川よみ大蛇を退治ありふ
より氷川と号くともん別名六月十五日

本 喜史の記り今乃の正なる本研のてこの
なりふ ○ 喜史の元末喜史家のを後
喜史の元末喜史家のを後
喜史の元末喜史家のを後
喜史の元末喜史家のを後

栗研坂喜史家



金王樓

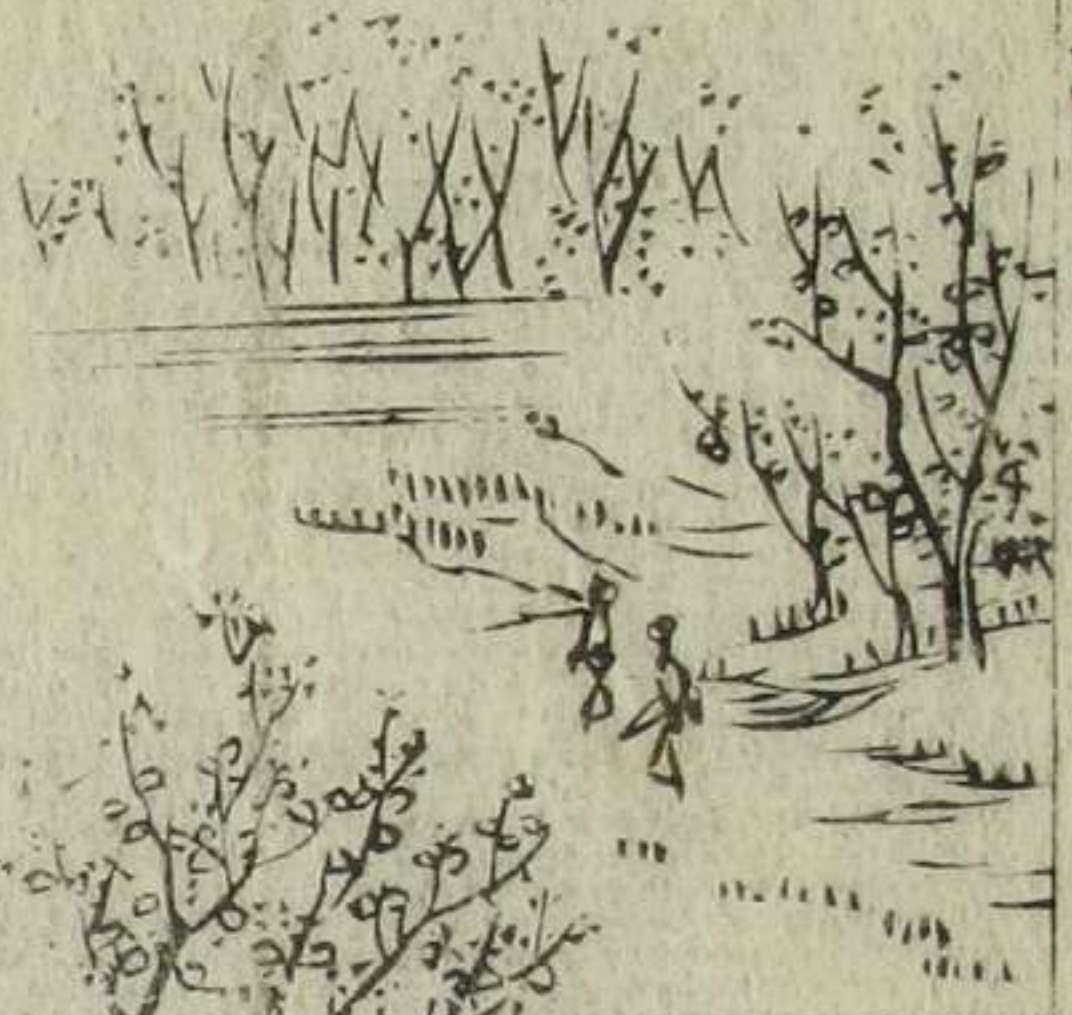
今丹是金王樓の金王丸は水の法も八幡み
権とのみ金王丸の甲列樹乃のゆあり

角有麴那天神

西の方角有麴那天神の言ありふより七つありおる家
年川天神の言ありふより七つありおる家
江川有麴那天神の言ありふより七つありおる家
二月廿二日菅林有麴那天神の言ありふより七つありおる家



桃岩園



写岩桃園較信

桃岩の右ふり入藪町十丁目園ありは門をいふ
夫外を走ては岩とあり桃園は口岩の末ふ
志中野のまなと野岬桃之較を信は口岩と
まの末ふありは口岩目海とあり

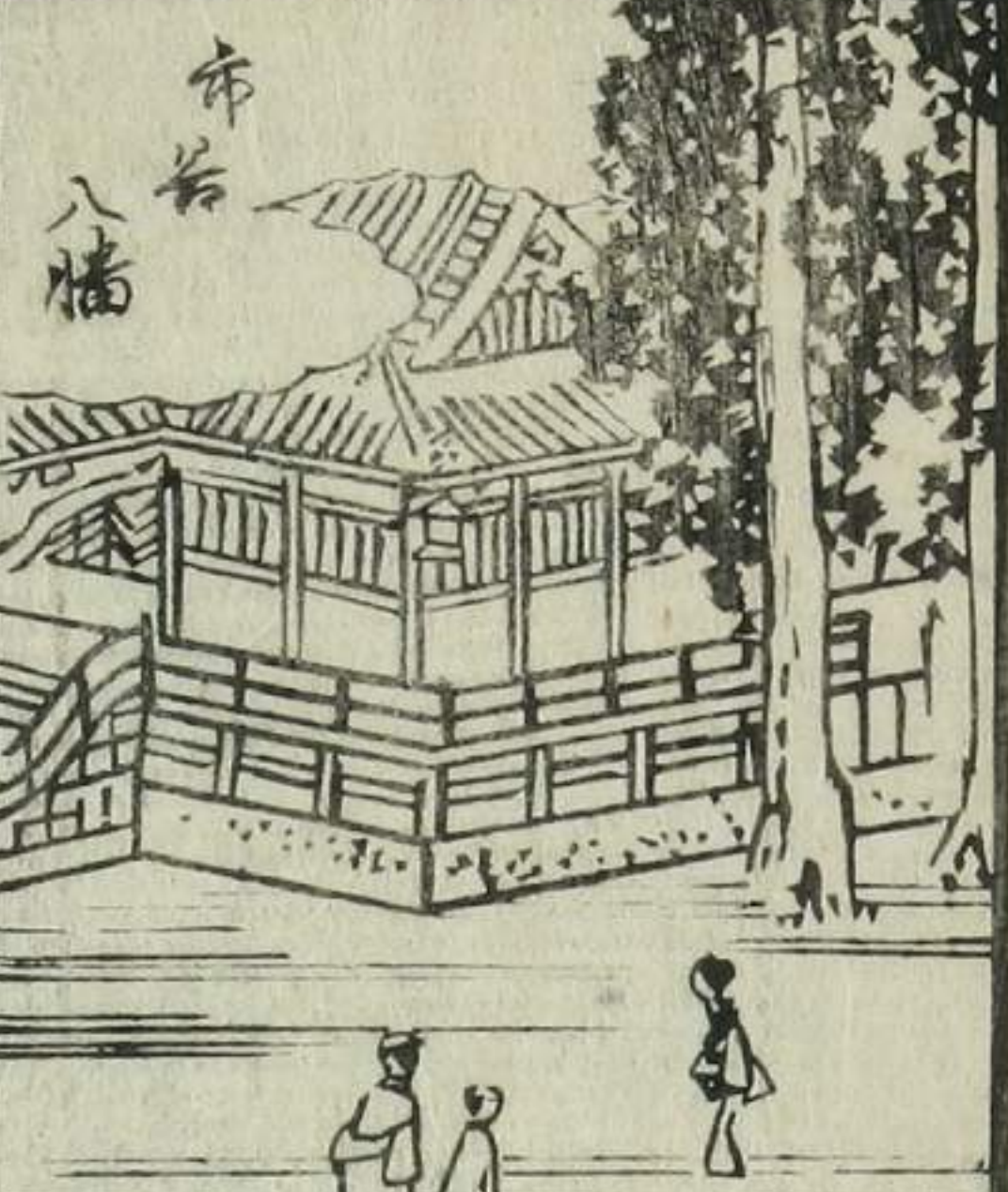
権田東大久保
権田の用ありむじ権田を廻つ園ありといふ人
権田の地ありと云大久保の大宮外なる牛
はと市岩の境より尾妙外山は屋
あまのまは成り



権田系

成方市岩八幡

成の方を成方市岩は口岩の北の八幡の
日雨田町あり別当は東岩山系寺といふ
文明年中建立大永年間云祀ふ被壊一
しと云長のは源空男運再身也



番町

丁と東表あるなる木のはるが東を東西十
六丁目小七八丁の場ありむり口岩方の武
家屋敷と揚つりたのなるありといふ今由
番丁ともいふ武家の中よりあり



番町四

江戸本町



長屋
穴八幡
東町平橋田
市谷尾別荘
長屋下町

穴八幡
東町平橋田
市谷尾別荘
長屋下町

穴八幡
東町平橋田
市谷尾別荘
長屋下町

穴八幡

穴八幡は東町平橋田に在りて
昔より此の地を治めし
穴八幡の御堂は
穴八幡の御堂は
穴八幡の御堂は



目白不動

有徳化



目白不動

目白不動は東町平橋田に在りて
昔より此の地を治めし
目白不動の御堂は
目白不動の御堂は
目白不動の御堂は

水乃場

水乃場は東町平橋田に在りて
昔より此の地を治めし
水乃場の御堂は
水乃場の御堂は
水乃場の御堂は



江戸本町

江戸本町

梨名所

梅

櫻

山吹

葛蒲

白梅

梅井村梅中き
白梅新梅中き
菅田村梅中き
梅井村梅中き

九段坂の上は葉屋
多山人丁の梅
梅ヶ谷の梅

上野山蔵山院内
乃久山 日吉の里
赤松山 湯田の里
赤松山 湯田の里

赤松山 湯田の里
赤松山 湯田の里
赤松山 湯田の里

湯田の先塔村
白梅の梅井村

友

牡丹

杜若

蓮

萩

赤松

赤松の境内
赤松の境内

赤松の境内
赤松の境内

赤松の境内
赤松の境内

赤松の境内
赤松の境内

赤松の境内
赤松の境内

赤松の境内
赤松の境内

紫

菊

松

柘

松

柘

紫の境内
紫の境内

紫の境内
紫の境内

紫の境内
紫の境内

紫の境内
紫の境内

紫の境内
紫の境内

紫の境内
紫の境内

東都

書林

中橋東中通下橋河

| | | | | | | | | | | | |
|-------|--------|--------|-------|--------|--------|---------|-------|------|-------|--------|--------|
| 岡田屋嘉七 | 和泉屋市兵衛 | 山城屋佐兵衛 | 山城屋政吉 | 須原屋茂兵衛 | 出雲寺萬次郎 | 和泉屋金右衛門 | 須原屋伊藏 | 英屋文藏 | 森屋次兵衛 | 山口屋藤兵衛 | 大和屋喜兵衛 |
|-------|--------|--------|-------|--------|--------|---------|-------|------|-------|--------|--------|

江戸方南名所杖初編終

